

金ケ崎町子育て支援センターちびっこひろば  
ちびっこひろばだより6月号

令和2年6月1日(月)発行

社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター  
金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700

Eメール [kosodatesien@aigokai.jp](mailto:kosodatesien@aigokai.jp) (ファックス番号が変更になりました。)



あっという間に6月に入ってしまった。センター利用については、やっと、6月4日より通常通りの受け入れが可能となります。他市町村の方の利用も可能となりますので、ぜひ遊びに来てください。

緊急事態措置が解除され、少しずつ普通の生活が戻ってくるのかな...といったところですが、「新しい生活様式」というものが示されました。その実践例に沿いながら、手洗い、うがいをしっかり行い感染リスクを少しでも回避できるようにしていきたいですね。



《6月の行事とお知らせ》

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4  びよびよ 保健指導員相談日	5	6
8	9	10  午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば	11	12 とことこ	13  とことこ
15	16	17	18	19 びよんびよん	20
22  21日(日)は、 父の日です。	23	24  午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば	25	26	27  とことこ
29	30				

＜6月の主な行事＞(10時30分頃～11時30分頃まで)

- ☆ 6月 5日(金) びよびよ(主に0歳児対象) 保健指導員相談日
- ☆ 6月12日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆ 6月19日(金) びよんびよん(主に2・3歳児対象)

＜6月のチューリップひろば＞

- ☆ 6月10日(水)午前・午後 24日(水)午前・午後

金ケ崎町子育て支援センターの利用について

- ・マスクの着用をお願いします。
  - ・来所時の健康確認、検温をお願いします。
  - ・小学生の利用は、できません。
- ご協力をお願いします。



月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

## 6か月～9か月ころのポイント（姿勢・運動）

7か月ころ、おなかを付けたずりばいが始まり、9か月ころからハイハイへ、そして高ばいへと変化していきます。それぞれの運動をしっかりと行い、体を作っていくことが大切です。

「おいでおいで」と、子どもの視線に好きなおもちゃや音のする物を示して誘い、腹ばいやハイハイで取ろうとする気持ちを引き出しましょう。



ハイハイは、ひざの屈伸と腕の力を使って前に進みます。大人が手のひらで子どもの足の裏を支え、子ども自身が足の屈伸をして前に進む経験を重ねていきましょう。

もっとハイハイして欲しいからといって、手の届きそうなところで、遠ざけたりしない（目標物・人は動かさない）ようにしましょう。「興味好奇心をもつ→目標に手が届く→達成感・満足感を味わう」ということで、自分で動こうとする意欲が育ちます。

### ○お座りのころのあそび

9か月ころから、両手を床から離して自力でお座りするようになります。ハイハイの姿勢と視界が大きく変わるため、子どもはお座りを喜びます。

お座りによって解放された両手をたくさん使ったあそびを楽しみましょう。



お座りが不安定な時期は、後ろや横に転倒する危険もあります。クッションや布団で支えてあげましょう。

○ポイント **腹ばいを嫌がる子には**お座りを覚えると腹ばいの姿勢を姿が見られることがあります。自力ではなく、支えられてのお座りは、背筋力もしっかりしていないため腰に負担がかかります。腹ばい姿勢をしっかり経験しないと背筋力がつかず、上体を起こす力も育たないため、しっかりしたハイハイができません。腹ばいで両手を使ったあそびやハイハイをたくさん経験し、背筋力をつけていきましょう。

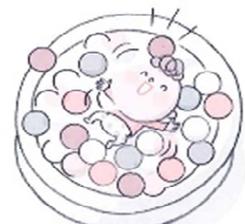
ロールクッションにまたがったり、大人の膝の上でゆすったり、ボールプールの中で転がって遊んだり、自分で姿勢を立て直す動きの体験をさせましょう。



ロールクッション



大人の膝の上



ボールプール

危険がないように、ボールプールの中のボールの硬さや量、また、周りにも十分注意し、目を離さないようにしましょう。